

焼津市地域未来まちづくり公益活動事業費補助金交付申請書

令和7年〇月〇日	
(宛先) 焼津市長	
申請者 所在地 焼津市本町2-16-32 団体名 〇〇の会 代表者(職・氏名) 代表 〇〇 〇〇	
令和7年度地域未来まちづくり公益活動事業費補助金の交付を申請します。 会長・代表・理事長など 6条の規定により 職名を記入してください	
補助対象事業の名称	〇〇〇〇事業
補助対象事業の区分	・地域まちづくり事業 ・まちづくり事業 ・設立初期団体支援事業
補助対象経費の総額	金〇〇〇, 〇〇〇円 第6号様式の支出の部の合計額を記入してください
補助の基準額	補助対象経費の総額の3分の2の額を記入してください (千円未満の端数は切り捨て) ※1,000円未満の端数切り捨て
補助金の申請額	補助金の基準額以下の額となります(上限金額あり) ※ただし、補助対象事業の実施に伴う当該補助金以外の収入(その他の収入)がある場合は、補助対象経費の総額からその他の収入を控除した額と、補助対象経費の2/3の額を比較し、いずれか低い金額が上限額となります。(千円未満の端数は切り捨て)
事業予定期間	令和〇年〇月〇日から令和△年△月△日まで

事業予定期間の始期は令和7年4月1日以降です。
 この始期から補助金が執行できます
 (この日付以降の領収書が経費として計上できます)

事業予定期間の終期は令和8年3月31日までです。
 (この日付までの領収書が経費として計上できます)

- (4) 団体の規約、会則又は定款
- (5) 構成員名簿
- (6) 報酬規程 ※該当団体のみ
- (7) その他市長が必要と認める書類

第2号様式（第6条関係）

事業計画書

団体名 ○○の会

現状（課題）	事業に取り組むにあたり、現状（課題）を記載してください	
事業の目的	事業に取り組む目的を記載してください	
申請した理由	申請した理由を記載してください	
計画内容 ・日時、場所 ・対象者 ・具体的内容 ・周知方法 ・実施体制 ・事業の効果等		
選考の視点	公益性	・市民誰もが参加できる要素、不特定多数の市民の利益へつながる事項について記入すること
	地域性	・地域の特性を生かすための工夫、地域の課題やニーズの解決・実現への貢献、他の住民や地域との連携や波及効果を期待できる事項について記入すること
	自立性・継続性	・自主財源の確保や、行政や他団体との連携など、自立して事業を継続していくために特に努力している点があれば、記入すること
	独自性・先駆性	・市民活動団体ならではの活動、また、これまでにない（少ない）新たな取組を含む計画があれば、記入すること。
	発展性	・補助金を交付することで、どのように事業が発展していけるか、記入すること。
	その他	・上記以外でアピールしたい事項があれば記入すること。また、新たな試みがあれば、記入すること。 ・事業の対象者(受益者)や現状の課題に対して、事業を行うことによりどのような効果が期待できるのか ・どのようなことを実施し、それが各視点にどうつながるのか など、項目ごと具体的に記入してください。

第3号様式（第6条関係）

団 体 概 要 書

団体の名称	(フリガナ)			
	必要事項を記載してください			
代表者の氏名等	氏名			
	住所	〒 —		
	電話			
事務局連絡先	氏名	補助金の手続きを実際に行う人が代表者以外にいる場合には記入してください		
	住所	〒 —		
	電話		Eメール	
	※日中連絡が取れる連絡先を記載してください。また、事務局欄には本事業の連絡先（電話番号、メールアドレス、FAX番号）との重複も可。			
通知等送付先	代表者・事務局			
設立年月日	年 月 日 (特定非営利活動法人の場合、認証年月日)		構成員数	人
活動を始めた きっかけ	各項目について記載してください			
活動の目的				
主な活動				
令和7年度 年間スケジュール	4月		10月	イベント開催
	5月		11月	支払い事務等
	6月	事業を行う上での予定を記入してください。		
	7月	チラシ作成	1月	
	8月	広報活動(SNS配信等)	2月	
	9月	広報活動(SNS配信等)	3月	
	年間予算額※	円		

※ 申請事業の予算を含めた団体としての年間予算額を記入すること。

第4号様式（第6条、第9条、第10条関係）

収支予算書

（収支予算書）
（収支予算書）

支出の部の合計額の2/3、上限は地域連携事業20万円、まちづくり事業10万円、設立初期団体育成事業5万円
※ただし、補助対象事業の実施に伴う当該補助金以外の収入（その他の収入）がある場合は、補助対象経費の総額からその他の収入を控除した額と、補助対象経費の2/3の額を比較し、いずれか低い金額が上限額になります。（千円未満の端数は切り捨て）

体名 ○○の会

	金額(円)	内容、算出根拠等
補助金	〇〇〇, 〇〇〇円	焼津市地域未来まちづくり公益活動事業費補助金
会費	△△, △△△円	
寄付金	◇. ◇◇◇円	市補助金以外の収入（その他の収入）について、適宜記入してください
合計	◆◆◆, ◆◆◆円	（補助対象経費の総額と同じ）

支出の合計と同額

2 支出の部

費目	金額(円)	内容、算出根拠等
報償費	〇〇, 〇〇〇円	
消耗品費	△△, △△△円	
印刷製本費	□. □□□円	別表2（第5条関係）を参考に、費目ごと記入してください
備品購入費	◇◇. ◇◇◇円	※補助対象経費の多くを占める経費や備品購入費を計上する場合は、見積書等、算出根拠となるものが必要です
合計	◆◆◆, ◆◆◆円	（補助対象経費の総額と同じ）

※ 備品を購入する場合は他の費目とは別にし、品目等を記載すること。

※ 変更収支予算書の場合は、変更前の予算を上段に括弧書きし、変更後の予算を下段に記載すること。

※ 費目欄について 報償費を計上した場合のみ記入してください。
（報償費は、補助対象経費の総額の1/3以内となります）

3 報償費

報償費の合計金額(円)	報償費に対する基準額
◇◇, ◇◇◇円	（補助対象経費の総額）
	◆◆◆, ◆◆◆円 × 3分の1 = ●●, ●●●円

※報償費の合計金額は、補助対象経費の総額の2分の1以内とする。

4 備品の購入（備品

購入備品の合計金額(円)	備品購入費に対する基準額
◇◇, ◇◇◇円	（補助対象経費の総額）
	◆◆◆, ◆◆◆円 × 3分の1 = ●●, ●●●円

※ 購入備品の合計金額は、補助対象経費の総額の3分の1以下とすること。

第6号様式（第9条関係）

焼津市地域未来まちづくり公益活動事業変更・中止承認申請書

令和△年△月△日

（宛先）焼津市長

申請者

所在地 **焼津市本町2-16-32**

団体名 〇〇の会

代表者（職・氏名） **代表** 〇〇 〇〇

令和7年度焼津市地域未来まちづくり公益活動事業費補助金交付要綱第9条第2項の規定により、事業の変更・中止の承認を受けたいので関係書類を添えて申請します。

記

1 交付決定

令和7年△月△日付け焼36-●●号

2 申請の内容

◇◇◇◇費の減額

3 申請の理由

変更または中止することとなった理由を記入してください

※ 代表者欄は、役職及び氏名を記載するものとします。

（添付書類）

- （1） 変更収支予算書（第4号様式）
- （2） その他市長が認める書類

申請額を上段に括弧書き、変更額を下段に記載するようにしてください

第8号様式（第10条関係）

焼津市地域未来まちづくり公益活動事業費補助金実績報告書

令和□年□月□日	
事業実施期間より後の日付 事業完了日から20日以内または4月2日のいずれか早い日付	
申請者	
所在地 焼津市本町2-16-32 団体名 <u>〇〇の会</u> 代表者(職・氏名) 代表 <u>〇〇 〇〇</u>	
令和 7 年△月△日付け焼 36-●● 号で交付決定を受けた補助対象事業が完了したので、令和7年度焼津市地域未来まちづくり公益活動事業費補助金交付要綱第10条の規定により報告します。	
補助対象事業の名称	申請時と同じ名称に <u>〇〇〇〇事業</u>
補助対象事業の区分	申請する事業の区分を○で囲んでください。 ・地域連携事業 ・まちづくり事業 ・設立初期団体支援事業 ※該当する事業区分を囲んでください。
補助金交付決定額	金 <u>〇〇〇, 〇〇〇</u> 円
補助対象経費の総額	第4号様式の支出の部の合計額を記入してください 金 <u>◆◆◆, ◆◆◆</u> 円 補助対象経費の総額の3分の2の額を記入してください（千円未満の端数は切り捨て）
補助の基準額	補助対象経費の総額 × 3分の2 = <u>□□□, □□□</u> 円 ※ 1,000円未満の端数切り捨て
補助金の算出額	補助金の基準額以下の額となります（上限金額あり） ※ただし、補助対象事業の実施に伴う当該補助金以外の収入（その他の収入）がある場合は、補助対象経費の総額からその他の収入を控除した額と、補助対象経費の2/3の額を比較し、いずれか低い金額が上限額になります。（千円未満の端数は切り捨て）
事業実施期間	令和 <u>〇</u> 年 <u>〇</u> 月 <u>〇</u> 日 から 令和□年□月□日 まで

（添付資料）

- (1) 事業の実績（別紙）
- (2) 収支決算書（第4号様式）
- (3) 写真、パンフレットその他の事業の実績を示すもの
- (4) 領収書又はその写し
- (5) その他市長が必要と認める書類

4月1日～3月31日の間で
領収書等の日付に注意

(別紙)

事業の実績

実施内容 ・ 日時、場所 ・ 参加者 ・ 具体的内容 ・ 周知方法 ・ 実施体制 ・ 事業の効果等	それぞれについて、具体的に記載してください。 別紙としてまとめても構いません。
事業の成果	事業を実施した成果を具体的に記載してください。 審査時の選考の視点（公益性、地域性、自立継続性、 独自先駆性、発展性など）を踏まえた内容にしてくだ さい。
課題・ 今後の方向性	計画と実績の比較などにより、事業を実施した上での 課題やそれに対する今後の対策、団体としての方向性 などを具体的に記載してください。審査時の選考の視 点を踏まえた内容としてください。
備考	協働推進課主催の講座等への参加状況（有・無） 参加した講座名（ ） 記入してください。講座等には積極的に参加してください。

第 10 号様式（第 12 条関係）

焼津市地域未来まちづくり公益活動事業費補助金請求書

金 額				千			円
	¥	○	○	○	○	○	○

¥をつける

内訳 交 付 確 定 額 金△△△, △△△円
 概算払を受けた額 金 □□, □□□円
 差 引 請 求 額 金○○○, ○○○円

概算払いを受けていない場合には0円

交付決定日ではないので注意

令和◆年◆月◆日付け焼 **36-◇◇**号により交付の確定を受けた焼津市地域未来まちづくり公益活動事業費補助金として上記のとおり請求します。

交付確定を受けた日以降で 20 日以内

令和●年●月●日

(宛先) 焼津市長

代表者の印を押印する。

所在地 **焼津市本町2-16-32**

団体名 **〇〇の会**

代表者(職・氏名) **代表 〇〇 〇〇 印**

振込先 金融機関	〇〇 銀行 農協 信用金庫	△△△ 本店 支店 支所	口座 種目	普通・当座
口座 名義人	(フリガナ) □□□□□□ □□□□□□		口座番号	
	〇〇の会 〇〇 〇〇		△△△△△△△△	

登録口座名義人を正確に記載

この書類は概算払を申請する場合、記入するものです

焼津市地域未来まちづくり公益活動事業費補助金概算払請求書

金 額				千			円
	¥	○	○	○	○	○	○

内訳

交 付 決 定 額 金△△△, △△△円

概算払を受けた額 金 0 円

今回概算払請求額 金○○○, ○○○円

交付決定日

交付決定額の
80%以内

令和**7**年△月△日付け焼 **36-●●**号で交付の決定を受けた焼津市地域未来まちづくり公益活動事業費補助金について概算払の請求をします。

申請する理由

申請する理由を具体的に記載してください

概算払い請求日

令和▼年▼月▼日

(宛先) 焼津市長

所在地

団体名

代表者(職・氏名)

⑨

振込先 金融機関	銀行 農協 信用金庫	本店 支店 支所	口座 種目	普通 ・ 当座
口座 名義人	(フリガナ)		口座番号	

(添付書類) 資金状況調べ(第12号様式)

資金状況調べ

「月」は事業実施期間について記入例：実施期間 4～3 月の場合 12 ヶ月分
ただし、記入範囲は 1 ヶ月毎でも 4 半期毎でも、基本的に同じ期間ずつであれば OK
申請する時期に概算払いが必要となることが明確となるよう設定する。

単位：円

費目		月～ 月	月～ 月	月～ 月	計
収入	補助金	A	C	E	●●, ●●●
	会費	B	D	F	△△, △△△
	小計	A + B	C + D	E + F	補助対象経費の 総額と同額
	通計	A + B	A + B + C + D	A + B + C + D + E + F	
支出	報償費				
	消耗品費				
	印刷製本費				
	備品購入費				
	小計				補助対象経費の 総額と同額
	通計				
差引残高（通計）					0

※ 未経過の日分について、概算払額を計上すること。

【重要】 差引残高のどの欄も、
概算払額より大きくならない

最後は「0」円